

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

別添資料6

公表: 令和6年 2月 28日

事業所名 Bianca

保護者等数(児童数) 15 回収数 6 割合 40 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	4	2			午後以降の人数がいる時を見たことがない。	利用者様が少ないため、確保しお子様同士の交流によるシナジー効果を意識していく。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	5			1	午前中は子供2人、3人くらいなので充分くらいな人数がいます。	利用者様確保による人員過不足がないように、研修やマニュアル、ヒヤリハットを改めて整備し周知しておく。
	3 生活空間は、本入にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1		1	細かい部分は確認させてもらっていないです。大まかな部屋の内容しかわかりません。	モニタリングを施設内で行い、改めて施設紹介を行う。又見学対応時にはしっかり設備説明に努めていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6				見た感じ清潔感があり、かわいらしいです。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	6					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			1		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	1				
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	4	1		1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1		2	3	普通の幼稚園に通っていればあえて必要ないと思います。	保育所や幼稚園と連携していく。
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	6	0				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	4		1	1		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニングiv等)が行われている	2		3	1	ペアレントトレーニングは他で勉強したので大丈夫です。保護者と先生の話す機会(時間)はほぼありません。アプリのみ。こんな時にどうすればいいかわからないと相談した時も親身になって教えてくださいます。	継続し関係性を構築する。保護者様が相談しやすい環境を整える。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5		1		保護者と先生の話す機会(時間)はほぼありません。アプリのみ。	お子様受け渡し時にフィードバックや一日の様子を伝えている。より厚く求めている利用者様もいらっしゃると思うのでさらなる相談しやすい環境づくりなど意識を持つ。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	5		1		保護者と先生の話す機会(時間)はほぼありません。アプリのみ。	同上
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている			3	3	保護者同士の交流を希望されていない方もいるので希望される方だけで行えばよいと思います。	希望者がいるかヒアリングを行う。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	4	1		1			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	5			1	アプリの連絡帳で写真も載せて下さるので、子供の様子が分かりやすいです。	継続していく。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	3			3		
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	4			2		
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	3	1	1	1		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	3			3		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	5	1			行ったら楽しんでいるような写メですが行き渋ることがある。今日は何をしたら毎日楽しそうに教えてくれます。	行く渋りに関しては個性や特性によりやむを得ない部分もある。エンジンがかかりにくいお子様もいる。毎日楽しく成長で来ていることは何より意識していることのため、安全面に配慮し継続する。
	23 事業所の支援に満足している	5	1				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公

公表: 令和6年 2月 28日

事業所名 Bianca

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	2		【課題】個別療育も取り組んでいるため、より強化するために個室空間が必要。 【改善目標】カーテンや仕切りを使い工夫していく。視覚的遮断や遮音の工夫を検討する。(テント設置等)
	2	職員の配置数は適切である	8	2		【課題】ご利用者様に対して平日は従業員の数が多すぎる。 【改善目標】利用者様確保に努めていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	1		【課題】個室を作った方がよいと思います。 【改善目標】「1」同様の目標設定
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	0	上司と面談あり	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0	朝礼など、適宜情報共有している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	5		【課題】児発管に情報過多になり、報連相漏れがある。 【改善目標】引き続き毎日朝礼を行い、自発管からの申し送りを定例化する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	4	外部の言語聴覚士の先生と業務委託契約を結び、児童に対するフィードバックなどアドバイスを受けている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	3		【課題】研修の機会を増やしてほしい。 【改善目標】大阪府からの研修など積極的に参加するとともに社内研修も見直す。研修時間の確保を行う。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	1		【課題】児発管のみ知っているような特性もある。 【改善目標】事業所内のケース会議の質を高めていく。また他機関とのモニタリングに、支援員や有資格者も参加していく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2		【課題】アセスメントツール使用のための個室がなく環境として改善しにくい。 【改善目標】「1」同様の目標設定
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	1		【課題】児発管からの共有が少ない。 【改善目標】児発管に研修を行いチームワークの発揮に努める。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	1		【課題】児発管からの共有が少ない印象。 【改善目標】「12」同様の目標設定
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	0	各担当職員で行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	毎日みんなで考えている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	1		【課題】児発管からの共有が少ない印象。 【改善目標】「12」同様の目標設定。個別支援計画書の閲覧方法を周知徹底する。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	朝会を行い確認している。職員間の話し合い、情報共有については常に努めている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	1		【課題】児発管からの共有が少ない印象。 【改善目標】「12」同様の目標設定。個別支援計画書の閲覧方法を周知徹底する。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	1		【課題】児発管のみの参加が多い。 【改善目標】他支援員も参加をしていく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	1		【課題】連携が不足しているように感じる。 【改善目標】外部機関との連携をより強化する。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	3		【課題】連携が不足しているように感じる。 【改善目標】外部機関との連携をより強化する。相談員や医療や他事業所など、顔の見える関係性を積極的に作っていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	10	0	重度対象利用者様の預かりがない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	3		【課題】情報共有をもっと増やしていきたい。 【改善目標】相互理解を図るため、相談支援にこちらから担当者会議を持ちかけていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	5	移行対象者がまだいない。	【課題】情報共有をもっと増やしていきたい。 【改善目標】相互理解を図るため、相談支援にこちらから担当者会議を持ちかけていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	3		【課題】情報共有をもっと増やしていきたい。 【改善目標】外部からの意見の取入れや研修を積極的に参画していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	5		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	5		児発管が助言。研修を受けていたのかも不明。従業員には周知されていないと思う。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0		
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	4			
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0			
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	ミライダイアリーを都度更新している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	7		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	2		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10	0	写真を撮る時に他児や掲示物の名前が写さないようにしている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	7		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	1		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	10	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0	職員間でダブルチェックするようにしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	4		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	1		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。